



平成29年12月期 第2四半期決算短信 (IFRS) (連結)

平成29年8月8日

上場会社名 株式会社ツバキ・ナカシマ
 コード番号 6464 URL <http://www.tsubaki-nakashima.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役CEO (氏名) 高宮 勉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役CFO (氏名) 小原 シェキール
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 平成29年9月1日

TEL 06-6224-0193
 平成29年9月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	20,653	12.1	3,460	2.7	3,094	16.3	2,276	13.0	2,276	13.0	2,300	
28年12月期第2四半期	18,429	8.5	3,557	9.0	2,659	29.1	2,014	30.0	2,014	29.9	2,865	

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円銭	円銭
29年12月期第2四半期	57.59	56.28
28年12月期第2四半期	50.61	49.73

(参考)

EBITDA 29年12月期第2四半期4,256百万円(2.7%減) 28年12月期第2四半期4,372百万円

EBITDA=営業利益+減価償却費及び償却費。なお、EBITDAは金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外となっております。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	95,192		45,194		45,175	47.5
28年12月期	93,382		44,011		43,992	47.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年12月期		30.00		33.00	63.00
29年12月期		31.00			
29年12月期(予想)				33.00	64.00

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	38,500	4.4	7,600	9.8	7,100	10.8	5,000	7.9	126.72

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年12月期2Q	40,211,000 株	28年12月期	40,029,700 株
-----------	--------------	---------	--------------

期末自己株式数

29年12月期2Q	571,075 株	28年12月期	571,075 株
-----------	-----------	---------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

29年12月期2Q	39,524,553 株	28年12月期2Q	39,799,705 株
-----------	--------------	-----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	4
3. 要約四半期連結財務諸表	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、地政学リスク懸念による不透明感はあるものの、米国経済は内外景気の回復に支えられ堅調に推移し、欧州でも緩やかな成長が続きました。中国においては継続的な成長の中、高品質・省力化を求める需要の高まりも出てきました。国内においても、企業収益や雇用情勢の改善などがみられ、緩やかな回復基調が続いております。

この様な状況の中、企業努力を続け、当第2四半期連結累計期間の売上収益はマクロ経済成長を上回る前年同四半期比12.1%増の20,653百万円（円高による在外連結子会社の為替換算影響を除いた増減は13.8%増）となりました。

利益面につきましては、当第2四半期連結累計期間におきまして、NN, INC. (NASDAQ: NNBR) グループが営む精密ベアリング部品 (Precision Bearing Components) 事業買収に関する諸活動のため費用が発生しましたが（7月10日に本件に関する株式譲渡契約に調印）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同四半期比13.0%増の2,276百万円（一時費用及び円高による在外連結子会社の為替換算影響を除いた増減は12.3%）となりました。

営業利益につきましては、前年同四半期比2.7%減の3,460百万円（一時費用及び円高による在外連結子会社の為替換算影響を除いた増減は11.3%増）となりました。

このように、当社グループは「“Further Profitable Growth（さらなる利益ある成長）”を実現し、企業価値を継続的に創造し続ける輝く企業を目指す」という経営理念のもと、“グローバル・ワン・ツバキ・ナカシマ”により、社会とお客様に一層貢献できる企業を目指し努力を継続していく所存であります。

セグメント業績を示すと、次のとおりであります。

ボールビジネス

ボールビジネスの売上収益は、前年同四半期比11.6%増の17,806百万円（円高による在外連結子会社の為替換算影響を除いた増減は13.7%増）となりました。セグメント利益（営業利益）につきましては、前年同四半期比2.2%減の3,139百万円（円高による在外連結子会社の為替換算影響を除いた増減は2.2%増）となりました。

リニアビジネス

リニアビジネスの売上収益は、前年同四半期比16.1%増の2,661百万円（円高による在外連結子会社の為替換算影響を除いた増減は15.4%増）となりました。セグメント利益（営業利益）につきましては、前年同四半期比9.9%減の150百万円（円高による在外連結子会社の為替換算影響を除いた増減は9.3%減）となりました。

その他

その他の売上収益は、前年同四半期比0.7%減の186百万円（円高による在外連結子会社の為替換算影響を除いた増減は0.7%減）となりました。セグメント利益（営業利益）につきましては、前年同四半期比6.1%減の171百万円（円高による在外連結子会社の為替換算影響を除いた増減は6.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前期末に比べ2,041百万円増加し47,825百万円となりました。これは現金及び現金同等物が1,665百万円、たな卸資産が491百万円、その他の流動資産が249百万円増加し、営業債権及びその他の債権が364百万円減少したことによります。

非流動資産は前期末に比べ231百万円減少し47,367百万円となりました。これは有形固定資産が291百万円減少し、その他の投資が65百万円増加したことによります。

流動負債は前期末に比べ910百万円増加し5,752百万円となりました。これは営業債務及びその他の債務が779百万円、その他の流動負債が224百万円増加し、未払法人所得税等が93百万円減少したことによります。

非流動負債は前期末に比べ283百万円減少し44,246百万円となりました。これは借入金が117百万円、繰延税金負債が70百万円、その他の非流動負債が54百万円、退職給付に係る負債が42百万円減少したことによります。

資本は前期末に比べ1,183百万円増加し45,194百万円となりました。利益剰余金が974百万円、資本金が93百万円、資本剰余金が92百万円増加したことによります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は20,797百万円と前連結会計年度末と比べ1,665百万

円の増加となりました。当第2四半期連結累計期間の各活動におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは3,403百万円の収入となりました。主な要因は税引前四半期利益が3,094百万円となり、減価償却費及び償却費796百万円、営業債務及びその他の債務の増加757百万円などのキャッシュの増加要因があった一方で利息の支払額216百万円、法人所得税等の支払額1,108百万円などのキャッシュ減少要因がありました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは504百万円の支出となりました。主な要因は有形固定資産の取得による支出510百万円によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1,177百万円の支出となりました。主な要因は配当金の支払額1,285百万円、借入金の返済による支出78百万円、新株予約権の行使による収入186百万円によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2017年7月10日に当社が公表いたしました「米国NN, INC. 社の精密ベアリング部品 (Precision Bearing Components) 事業の譲受けを目的とした子会社の異動を伴う株式の取得に関するお知らせ」に記載のとおり、本件の当社連結業績に与える影響は現在精査中であり、見通しが立ち次第速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	19,132	20,797
営業債権及びその他の債権	10,282	9,918
たな卸資産	16,110	16,601
その他の流動資産	260	509
流動資産合計	45,784	47,825
非流動資産		
有形固定資産	19,104	18,813
無形資産及びのれん	24,306	24,300
投資不動産	3,755	3,755
その他の投資	187	252
繰延税金資産	184	179
その他の非流動資産	62	68
非流動資産合計	47,598	47,367
資産合計	93,382	95,192
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	2,170	2,949
借入金	155	155
未払法人所得税等	900	807
その他の流動負債	1,617	1,841
流動負債合計	4,842	5,752
非流動負債		
借入金	38,762	38,645
退職給付に係る負債	2,125	2,083
繰延税金負債	2,126	2,056
その他の非流動負債	1,516	1,462
非流動負債合計	44,529	44,246
負債合計	49,371	49,998
資本		
資本金	16,299	16,392
資本剰余金	10,472	10,564
自己株式	△971	△971
その他の資本の構成要素	△2,305	△2,281
利益剰余金	20,497	21,471
親会社の所有者に帰属する持分	43,992	45,175
非支配持分	19	19
資本合計	44,011	45,194
負債及び資本合計	93,382	95,192

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月 1日 至 2016年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月 1日 至 2017年6月30日)
売上収益	18,429	20,653
売上原価	13,192	14,907
売上総利益	5,237	5,746
販売費及び一般管理費	1,715	2,349
その他の収益	51	65
その他の費用	16	2
営業利益	3,557	3,460
金融収益	33	23
金融費用	931	389
税引前四半期利益	2,659	3,094
法人所得税費用	645	818
四半期利益	2,014	2,276
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2,014	2,276
非支配持分	△0	△0
四半期利益	2,014	2,276
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目		
確定給付制度の再測定	△2	—
純損益に振り替えられない項目の合計	△2	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の為替換算差額	△4,761	△62
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△97	43
売却可能金融資産の公正価値の変動	△19	43
純損益に振り替えられる可能性のある項目の合計	△4,877	24
税引後その他の包括利益	△4,879	24
四半期包括利益	△2,865	2,300
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△2,862	2,300
非支配持分	△3	△0
四半期包括利益	△2,865	2,300
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	50.61	57.59
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	49.73	56.28

第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2016年4月 1日 至 2016年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2017年4月 1日 至 2017年6月30日)
売上収益	9,490	10,588
売上原価	6,708	7,626
売上総利益	2,782	2,962
販売費及び一般管理費	864	1,234
その他の収益	15	29
その他の費用	3	2
営業利益	1,930	1,755
金融収益	21	91
金融費用	556	111
税引前四半期利益	1,395	1,735
法人所得税費用	344	484
四半期利益	1,051	1,251
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,051	1,251
非支配持分	△0	△0
四半期利益	1,051	1,251
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目		
確定給付制度の再測定	—	—
純損益に振り替えられない項目の合計	—	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の為替換算差額	△3,046	459
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△25	17
売却可能金融資産の公正価値の変動	△3	35
純損益に振り替えられる可能性のある項目の合計	△3,074	511
税引後その他の包括利益	△3,074	511
四半期包括利益	△2,023	1,762
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△2,020	1,762
非支配持分	△3	△0
四半期包括利益	△2,023	1,762
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	26.41	31.61
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	26.00	30.89

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	確定給付制度 の再測定	在外営業活動 体の為替換算 差額	キャッシュ・ フロー・ヘ ッジ
2016年1月1日 残高	16,165	10,343	—	0	—	463	△336
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△2	△4,758	△97
四半期包括利益	—	—	—	—	△2	△4,758	△97
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	—
株式の発行	53	51	—	△0	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	0	—	—	—
新株予約権の失効	—	—	—	△0	—	—	—
利益剰余金へ振替 所有者との取引額等 合計	—	—	—	—	2	—	—
2016年6月30日 残高	16,218	10,394	△0	△0	2	△4,295	△433

	親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資本の構成要素			利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	売却可能金融資 産の公正価値の 変動	合計					
2016年1月1日 残高	△0	127	18,399	45,034	19	45,053	
四半期利益	—	—	2,014	2,014	△0	2,014	
その他の包括利益	△19	△4,876	—	△4,876	△3	△4,879	
四半期包括利益	△19	△4,876	2,014	△2,862	△3	△2,865	
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0	
株式の発行	—	△0	—	104	—	104	
剰余金の配当	—	—	△1,312	△1,312	—	△1,312	
株式報酬取引	—	0	—	0	—	0	
新株予約権の失効	—	△0	—	△0	—	△0	
利益剰余金へ振替 所有者との取引額等 合計	—	2	△2	—	—	—	
2016年6月30日 残高	△19	△4,747	19,099	40,964	16	40,980	

(単位：百万円)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				新株予約権	在外営業活動体の為替換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2017年1月1日 残高	16,299	10,472	△971	0	△1,968	△332
四半期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△62	43
四半期包括利益	—	—	—	—	△62	43
株式の発行	93	92	—	△0	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	0	—	—
所有者との取引額等合計	93	92	—	△0	—	—
2017年6月30日 残高	16,392	10,564	△971	0	△2,030	△289

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	売却可能金融資産の公正価値の変動	合計				
2017年1月1日 残高	△5	△2,305	20,497	43,992	19	44,011
四半期利益	—	—	2,276	2,276	△0	2,276
その他の包括利益	43	24	—	24	0	24
四半期包括利益	43	24	2,276	2,300	△0	2,300
株式の発行	—	△0	—	185	—	185
剰余金の配当	—	—	△1,302	△1,302	—	△1,302
株式報酬取引	—	0	—	0	—	0
所有者との取引額等合計	—	△0	△1,302	△1,117	—	△1,117
2017年6月30日 残高	38	△2,281	21,471	45,175	19	45,194

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月 1日 至 2016年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月 1日 至 2017年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	2,659	3,094
減価償却費及び償却費	815	796
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	35	△41
受取利息及び受取配当金	△16	△19
支払利息	219	215
為替差損益(△は益)	755	153
固定資産処分損	13	1
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	503	427
たな卸資産の増減額(△は増加)	△481	△569
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	304	757
その他	△711	△104
小計	4,095	4,710
利息及び配当金の受取額	5	17
利息の支払額	△206	△216
法人所得税等の支払額	△1,182	△1,108
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,712	3,403
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△260	△510
その他	△23	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△283	△504
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△78	△78
新株予約権の行使による収入	105	186
配当金の支払額	△1,268	△1,285
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,241	△1,177
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,224	△57
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△36	1,665
現金及び現金同等物の期首残高	17,219	19,132
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,183	20,797

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

(1) セグメント区分の基礎

当社グループは事業を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「ボールビジネス」、「リニアビジネス」及び「その他」の3つを報告セグメントとしております。

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営責任者が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

「ボールビジネス」は、精密球の製造販売を行っております。「リニアビジネス」は、ボールねじ及び送風機を製造販売しております。「その他」は、不動産の賃貸等を行っております。

セグメント情報は要約四半期連結財務諸表と同一の会計方針に基づき作成しております。各セグメントの営業利益は税引前四半期利益に金融収益及び金融費用を加減しており、要約四半期連結包括利益計算書における営業利益と同一の方法で測定されています。

セグメント間の取引の価格は、独立第三者間取引における価格で決定されております。

(2) 報告セグメントに関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 2016年1月1日 至 2016年6月30日）

(単位：百万円)

	ボール ビジネス	リニア ビジネス	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
売上収益						
外部収益	15,950	2,292	187	18,429	—	18,429
セグメント間収益	—	0	22	22	△22	—
連結収益合計	15,950	2,292	209	18,451	△22	18,429
セグメント利益	3,208	167	182	3,557	0	3,557
						金融収益
						33
						金融費用
						△931
						税引前四半期利益
						2,659

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

当第2四半期連結累計期間（自 2017年1月1日 至 2017年6月30日）

(単位：百万円)

	ボール ビジネス	リニア ビジネス	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
売上収益						
外部収益	17,806	2,661	186	20,653	—	20,653
セグメント間収益	2	0	22	24	△24	—
連結収益合計	17,808	2,661	208	20,677	△24	20,653
セグメント利益	3,139	150	171	3,460	0	3,460
						金融収益
						23
						金融費用
						△389
						税引前四半期利益
						3,094

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

前第2四半期連結会計期間(自2016年4月1日至2016年6月30日)

(単位:百万円)

	ボール ビジネス	リニア ビジネス	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
売上収益						
外部収益	8,234	1,162	94	9,490	—	9,490
セグメント間収益	—	—	11	11	△11	—
連結収益合計	8,234	1,162	105	9,501	△11	9,490
セグメント利益	1,733	105	91	1,929	1	1,930
				金融収益		21
				金融費用		△556
				税引前四半期利益		1,395

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

当第2四半期連結会計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

(単位:百万円)

	ボール ビジネス	リニア ビジネス	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
売上収益						
外部収益	9,114	1,381	93	10,588	—	10,588
セグメント間収益	1	0	11	12	△12	—
連結収益合計	9,115	1,381	104	10,600	△12	10,588
セグメント利益	1,598	71	86	1,755	0	1,755
				金融収益		91
				金融費用		△111
				税引前四半期利益		1,735

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。